

シャローム



2023年
秋号

イエスが来て真ん中に立ち
「あなたがたに平和があるように」
と言われた。(ヨハネによる福音 20 章 26 節)



目次

ーともに支えあい 一歩ずつ前へー

司祭団より	・・・2p	宣教司牧実習（千葉助祭）	・・・8p
洗礼・堅信おめでとう	・・・4p	地区割制度のこれから	・・・9p
日曜学校だより	・・・6p	教会の動き	・・・10p

◆4月に着任した助任司祭から

召命の原点

—司祭叙階時のモットーを振り返って—



神さまの偉大さと私

トラン・ナム・フオン

わたしは『マタイによる福音書』から、「正義を勝利に導くまで、彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さない」(12章20節)を司祭叙階のモットーとして選びました。この一節を選んだ理由は、2003年のある時期にさかのぼるものです。わたしにとってはこの一週間の黙想会が、それを通じて自分の使命を再確認する機会となりました。その期間中にわたしは一人で神と、自分自身と向き合い、人生を振り返るお恵みを願いました。

住み慣れた日常からひととき離れて、静かな環境の中で、わたしは自分自身の至らなさや罪深さと向き合わざるを得ませんでした。

得ませんでした。神さまや人々に対する不十分なところや、道すじから外れた自分を謙虚に受けとめることが出来ました。しかし、不思議なことに、不十分な自分を改めて見つめると同時に、わたし自身は神さまに大きな慰めと安らぎを見いだすことも出来ました。というのは、弱さや欠点があるにもかかわらず、神さまの愛は様々な形で変わらずにわたしを包んでくださることを発見したからです。

その発見は『マタイによる福音書』12章20節にあります。「正義を勝利に導くまで、彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さない」。

この節は、神さまのわたしたちに対する揺るぎない寛大さを示してくれそうです。言い換えれば、神さまは絶えず罪を繰

り返し、誘惑に陥ってしまうわたしたちを嫌ったり、遠ざけたりするより、むしろ「傷ついた葦」、もしくは「くすぶる灯心」のような、最ももろい状態にあるわたしたちであつても、ありのままに受け入れてくださいます。忍耐強い神さまはわたしたちを助け、ご自分のもとに立ち返るために必要な力と勇気を与えてくださいます。

このマタイ福音書の一節はわたしの司祭としての歩みに光を与え続けてくれます。この発見の恵みをただ自分のために生かしていくだけではなく、出会う方々にも同じ神さまの心の寛大さを実感していただくことが出来るよう常に努め、また祈っています。

見失った一匹の羊

森 智宏



私が自分の召命のことで、考え込んだり、悩んだりするとき、いつも頭をよぎるのは、「見失った羊」のたとえ(ルカ15章1〜7節)です。このたとえ話は、続

く「失くした銀貨」のたとえ、そして有名な「放蕩息子」のたとえという一連のたとえ話の導入となっています。父である神が、羊の主人にたとえられ、持っている百匹の羊の中の一匹を見失ったとすれば、その見失った一匹を探し回り、見つけ出せば大いに喜ぶとイエスはたとえ話の中で教えられています。

私はもともと、司祭になりたいという強い意志があつて神学校に入つたわけではなく、成り行きで入りました。

そのため、神学校に入つて間もない頃は、自身の将来像が全く見え、何のためか自分が司祭になるのかわかりませんでした。それでも神学校を辞めず続けていたのですが、修練期に入つた時、この聖書の箇所に出会いました。

修練期は、祈りと労働の中で自分の召命を識別する期間です。修練期中の黙想の時に、この聖書の箇所を読み、自分の召命について様々なことを考えました。その中で、私はひょっとして、自分の生活を通してずっと主に呼ばれて

いたのではないのかという疑問が浮かびました。そして、このたとえ話のうちに、私は神のもとで働くようにずつと呼びかけられ、探されていたのに、そのことに全く気づかなかつただけなのではないかと考え始めるようになり、ました。そしてその時に、

もし司祭の道に呼ばれているならば、できる限りのことをしようと思い、自分の召命に確信はありませんでした。が、神学校に残る決心をしました。

叙階記念カードの言葉に、この箇所の言葉を選びましたが、現在も自分が司祭として、どのように働くか迷ったときに、この聖書箇所を読むようにし、自分の召命のきつかけに立ち戻り、自分が司祭として働く決意を改めて確認しています。

司祭動向

・4月からボスコ神父は助任司祭から居住司祭となりました。

・後藤神父から「管区長の許可のもと、司祭館を離れ静かな施設で静養してをります。みことばの受肉の神秘に深く思いをはせながら残された時間を福音宣教のためにおさげいたします」とメッセージが届いています。月一、二回後藤神父を訪問している主任神父に、「最近食欲はあるものの、読み書きが難しくなったことを悔しく思っているが、神様のみ旨に任せ全てに感謝している」と話されているそうです。

私自身、今なおなぜ司祭になったのか疑問に思うことも多いです。しかし主の呼びかけに応えている限りは、そのうちにその答えを探し出すことができるのではないかと思います。



洗礼 堅信

おめでとうございます

考え方の相違から大学の先生方とも両親とも決裂した私にただ一人救いの手を差し伸べてくれた元恩師が、何度も、「高橋くんを助けるのはキリストの愛でそうするのよ」とおっしゃっていました。

まだかたくなだった私は自分自身への自信過剰から単身渡英し無理やり勉強を継続、その半年目に大病を患い、帰国しての長期療養を強いられました。

しかし、病気を通じて、それまでの「二人で考え抜けば必ず事態は解決するはずだ」という思い込みが氷解し、「困ったときには人に助けてもらう必要がある」から「人は一人では生きてい

4月8日、復活の聖なる徹夜祭にて12名が受洗。
6月10日、17時のミサの中で、18名の方が菊地大司教より堅信の秘蹟を受けました。

けない」という気づきへとつながりました。そこで冒頭の元恩師の言葉を思い出し、教会に足が向いたのです。そして、もっと深くキリスト教を知り、教会共同体の一員になって皆様と関わりたい

と、洗礼・堅信を受けた次第です。

振り返ってみると、元々持っていた根拠のない自信というのは両親からの愛によるものだったと思います。親離れのためには命がけで何かにチャレンジする必要があり、その結果、私は信仰を与えられました。

思えば、幼稚園から大学までカトリックで、いつもお祈りはそばにありました。ただ、いつもどこか他人事であり、自分自身でわかったような気になっていたように思います。

ふとしたお導きによって吉祥寺教会のごミサにあずかるようになり、昨年、改めて入信を決意しました。

入門講座は半年間という短い期間でしたが、お祈りをはじめ、教区の役割まで：：駆け足でしたが、多くの事を神父様から教えていただきました。講座に参加している皆様は年齢層も



幅広く、ここに至るまでの人生のバックグラウンドもさまざまですが、同じ信仰のもと机を並べ、神父様のお話を伺えたことで、今後の信仰生活にとってもかけがえのない出会いを頂けたこととても嬉しく思います。

昔と違って核家族が多い中、吉祥寺教会という共同体のお仲間に入れていただき、これから皆様と生きる喜びを分かち合えること、感謝申し上げます。

どうぞ、よろしく願っています。
最後に、洗礼にあたりご配慮くださったビジュ神父様、お勉強会を主導してくださった荒田神父様、その他お支えくださったすべての皆様に御礼申し上げます。

私自身は世田谷区瀬田の出身で、近所にある瀬田教会のグラウンドが遊び場で、学校が終わると毎日のように友達と教会のグラウンドで野球をしていました。当時、司祭となった叔父が瀬田の聖アントニオ神学院で勉強をしている頃で、教会は身近な存在でした。

その後、結婚して、妻が叔父から洗礼を受けることになり、叔父のいた宇都宮教会の勉強会に妻が参加しており、私も勉強会に陪席しておりました。その当時は、あまり熱心に聞いていなかったと思います。ただ、叔父の言葉で一つだけ心に残ったのは、「真理が山の頂にあるとすると、宗教は山頂まで登る登山道であり、キリスト教でも、仏教でも、イスラム教でも、本物の宗教は山頂にたどり着くことができる」という話でした。妻が洗礼を受けたことにより、二人の娘は、瀬田教会の土曜

学校に通い、学び、遊び、自然と洗礼を受けることとなりました。

不透明な社会情勢の中で、家族で同じ登山道を歩もうという心境になった次第です。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

無事にこの日を迎えることができ、神父様、教会の皆様、家族、そして今日ミサを捧げてくださった大司教様に感謝しています。

僕はこの4月で高校生になりました。生活が変わって、日曜学校のリーダーになって、少しずつ大人にならないといけないと感じています。責任感も必要です。これからは、嬉しいこと、つらいこと、悲しいことも今まで以上に増えていくと思いますが、そんな時にも神様が常にそばにいてくださいますように。そして私たちが希望や喜びに満ちあふれますように。

日曜学校だより

7月2日(日) 合同授業
テゼの祈り 2階和室にて

テゼの祈り

およそ4年ぶりの日学テゼの祈りです。

夏・春合宿で必ず行っていましたが、今は子ども全員が初体験です。今回は保護者も招待しました。

「テゼの祈りって何？」という参加者の為に、発祥・特徴・現地の写真などの明の後、子どもたちの手作りろうソクの灯を中心に、短いフレーズの祈りの歌を繰り返し歌いました。初めての朗読や共同祈願もりっぱにやってくれました。きっとドキドキだったと思います。

特に共同祈願の子どもが皆、戦争で苦しんでいる人たちに触れていたのが印象的でした。子どもたちは、大人の世界をしっかりと感じ取っていました。

10年ほど前の山の家夏合宿でのエピソードです。

「肝試しの暗闇の中、勇気をだすために子どもたちは、テゼの祈りを歌いながら歩いていたよ。」と

引率の神父さまが愛おしそうに笑いながら教えてくださいました。

♪ 私たちが暗闇にとどまることのないように

キリストは光として世に来られた

テゼの説明を真剣に聞いている子どもたち



テゼの説明より
フランステゼ村の
画像の数々
←シンプルな食事の
画像は少し印象的
だったようです



子どもたちの手作りろうそくを
使って「テゼの祈り」をしました

日曜学校だより

夏合宿

8月17日～19日

4年振りに開催できた夏合宿、教会での開催となりました。

小学校3年～中学校3年の5名の子供が参加しました。

まずは夏合宿が久々にできたこと、無事に終わったことに感謝します。

今年は侍者に焦点を当て、徹底的に練習し、テストも行ない、満点を取る子供もいました。合宿中のミサでは、実際に子供たちが侍者をつとめ実りある時間となりました。

また、イベントとしてゲーム大会、花火、当日まで秘密にしていた肝試し、たこ焼きパーティーや水遊び等を行いました。子供たちだけでなくリーダー、神父様も含めみんなで楽しめたと思います。

来年は山の家で開催したいと思いました。

食事当番のみなさん、
ありがとうございました。

宣教司牧実習

東京カトリック神学院
札幌教区助祭 ペトロ千葉 充^{みつる}

今年度、吉祥寺教会で実習させていただいております、千葉と申します。

日本のカトリック教会には、教区神学生を養成するための神学校が、東京と福岡にあります。私たちが在院しています東京カトリック神学院は、東京教会管区と大阪教会管区の11教区が設立母体となっており、札幌教区から広島教区までの神学生18名が在籍しております。

神学生の養成は、教皇様とローマの福音宣教省の指針に基づき、「人間的養成・知的養成・霊的養成・宣教司牧養成」という、四つの次元で養成がなされるように組み立てられております。共同生活を通して人間的に、神学・哲学の授業を通して知的に、毎日のミサと聖務日課、種々の祈りを通して霊的に、そして宣教司牧の実習を通して、将来の

司祭職へと四つの次元が統合されていくよう求められております。

司祭召命の道は、変化が著しい時代にあつて教会は何を求められているのか、その教会において神の道具となつて働く司祭職とは何なのか、そして、この現代社会のなかにあつて「主よ、あなたのお望みは」と、問い続けていかなくはなりません。そのためには、外的要因ばかりを見るのではなく、自分自身を見つめていかなくはなりません。この内省は、時には辛く感じることもあります。神との人格的交わりが、宣教司牧という他者との出会いの場において分かち合うことができるよう、この実習の機会を大切に過ごしてまいります。

毎年、吉祥寺教会では神学生を受け入れて下さり、主任のビジュ神父様と司祭団の皆様、そして信徒の皆様に、心より感謝申し上げます。残りの期間、どうぞよろしくお願い致します。

「助祭」って？

カトリック教会での助祭には、司祭職を目指す助祭と助祭の身分にとどまる終身助祭（既婚者もなれます）とがあります。助祭の務めは「奉仕（ディアカニア）」と呼ばれ、司教に仕え、司牧研修や小教区で司祭の補佐を果たし、福音朗読と説教、洗礼式、結婚式、葬儀の司式、教会の運営などを行ないます。祭儀の際に着用するストラは、司祭は首の後ろにかけて両肩から胸の前に下げますが、助祭は左肩から斜めに右腰まで伸ばして固定します。

（参照）新「カトリック大事典」

霊性センターせせらぎHP「きょうをささげる」2020・5月



聖信式ミサでの千葉助祭

地区割制度のこれから

ともに支えあい 一歩ずつ前へ



↑地区割のイメージはこちら

地区割準備委員会委員長

地区割準備委員会は昨年7月にスタートし、さまざまなことを検討してきました。そして、最終的に10地区に調整した地区割りの「所属する地区」を8月末に信徒の皆様にはガキにてご案内することができました。これをもって地区割準備委員会の役目も終了することになります。地区割準備委員、教会委員、関係者の皆様のこれまでのご尽力に感謝するとともに、新しい段階に入った地区割制度運用のプロジェクトが教会委員会の手でスタートすることを心強く思っております。

そこで信徒の皆様には私からのお願いがあります。No.507のシャロームの守重教会委員長の言葉「どうぞ今まであまり言葉をかわしたことのない方

にも声をかけてみてください。」をぜひ勇気を出してチャレンジしてください！特にこれから始まる各地区集会の場でお願いたします。その一声で大きく変わります。顔と名前がわかる人が増え、信徒同士の生きた親睦交流、分かち合い、霊的向上ができる環境が生まれ、病弱、高齢、孤独の弱者の信徒に対しての教会共同体としてのサポート体制が整うと確信いたします。自分のできる範囲で結構です。勇気をもって第一歩を踏み出してください。

教会委員長

6月25日開催の地区割制度のための信徒総会には配信を含め350名ほどの方がご出席くださいました。多くの貴重で、建設的なご意見や進行への

ご協力ありがとうございました。教会委員会で問題点を話し合い改善すべきことは改善していきます。

皆様のお手元の地区グループのお知らせハガキの中に、地区グループごとの初回集会の日時が記載されています。集会への参加は任意ですが、多くの皆様にご参加いただき、互いに知り合い、教会の事などをお話いただく機会になればと思います。

まだ始まったばかりの地区割制度です。皆様とともに安心して楽しい地区を作っていきたいと思えます。

地区割制度によって奉仕などの負担が増えるのご心配の向きがあるようですが、地区割制度は親睦を目的としており、教会からは奉仕などを地区に依頼することはないことを申し添えます。



教会の動き

〔4月〕

- 1日 教会委員会・財務委員会
- 2日 典礼奉仕者連絡会
- 6日 聖木曜日 18時半ミサ
- 7日 聖金曜日
 - 17時半 十字架の道行き
 - 18時半 主の受難の典礼
- 8日 復活の聖なる徹夜祭
 - 18時半ミサ 洗礼式12名
- 9日 復活の主日 9時、10時半ミサ
- 15日 地区割準備委員会
 - アンデイ神父最後のミサ
 - 千葉助祭司牧実習開始
- 22日 マリア会総会
 - 10時半ミサ、総会10時55分から
 - 会員47名、司祭4名出席
- 地区割制度追加説明会
- 23日 森・フォン両神父着任後初ミサ
 - 地区割制度追加説明会
 - 11時半 大聖堂

〔5月〕

- 6日 教会委員会
 - 聖母月の5月中は、各主日ミサ

でロザリオを唱え、庭のマリア像に皆で花を捧げました。

- 7日 日曜学校始業式
 - 典礼奉仕者連絡会
- 8日 新型コロナウイルス感染症、感染症法上の5類に移行
- 13日 財務委員会
 - 堅信のための勉強会第1回
 - ミサ中のマスク着用は任意、手指の消毒なしになる。
- 14日 ヨゼフ会例会
- 17日 マリア会定例会
 - 聖母月のミサ終了後
- 20日 地区割準備委員会
 - 堅信のための勉強会第2回
 - ミサ中の聖歌の斉唱の制限解除。歌唱の際のマスク着用は継続とする。
- 21日 日曜学校
- 27日 堅信のための勉強会第3回
- 28日 ヨゼフ会幹事会
- 〔6月〕
 - 2日 主日ミサ前に歌の練習
 - 6月25日まで各主日ミサ前に賛歌などの歌を練習
 - 3日 教会委員会・財務委員会
 - 堅信のための勉強会第4回
 - 4日 日曜学校・典礼奉仕者連絡会

10日 堅信式 17時ミサ

- 11日 菊地大司教司式 受堅者18名
- 17日 ヨゼフ会例会
 - 地区割準備委員会
- 25日 一斉メール登録お手伝い(18・25日も)
- 29日 地区割制度のための信徒総会
 - 11時半から大聖堂にて
- 〔7月〕
 - 1日 マリア会臨時定例会
 - 1日 ミサの奉納再開
 - 主日ミサ前の祈りの冊子を聖堂座席に配置、ミサ5分前からの祈りを始める。
 - 2日 教会委員会・財務委員会
 - 勉強会(主日の福音の勉強と分かち合い)開始 15時半
 - 9日 日曜学校・典礼奉仕者連絡会
 - ヨゼフ会例会
 - 15日 地区割準備委員会
 - 16日 日曜学校終業式
 - 23日 ヨゼフ会幹事会
 - 30日 聖堂掃除 10時半ミサ後
- 〔8月〕
 - 15日 聖母の被昇天ミサ 9時
 - 17日 日曜学校夏合宿
 - 27日 聖堂掃除 10時半ミサ後

地区割制度のための信徒総会議事要旨

日 時 2023年6月25日 11時30分～12時30分 場所 カトリック吉祥寺教会

出席者 250名 司会 一柳 裕子

I. 「地区割り制度導入に関する説明と信徒総会の案内」を全信徒に郵送した結果の報告

総会趣旨のお知らせ発送先 1921件 郵便が届いた世帯 1736件(2726人)

返信されたハガキ 804件 出席回答 252件(290名)

住所不明で郵便が戻った数 185件

地区割該当地域にお住まいの信徒 1447件(2336人)

遠方にお住まいの信徒(新潟から福岡 289件(390人))

I. 開会の挨拶

準備委員長 渡邊 文紀

地区割準備委員長渡邊文紀氏より開会の挨拶があり、この一年間にわたっての準備、地区割導入案の信徒の向けの説明会などについて触れた。

I. 開会の祈り

ビジュ主任司祭

主任司祭ビジュ神父が教会共同体のため、出席できなかった方々のために祈り、神様の導きを願った。

I. 議長選出

一柳 裕子

司会者より守重議長と阿部副議長の紹介が行われ、それぞれ挨拶をした。

I. 議 事

議 長 守重 英子 副議長 阿部 幸子

議長より、以下のような提案があった。

・吉祥寺教会は教会規約が存在しないので、列席の方々の賛同で吉祥寺教会の方針を決めていきたい。

・本日の参加数は後ほど報告するが、返信頂いたはがきが804枚、出席との返信は252枚、出席予定者は290名となっている。

・書記2名は小林書記と芹澤書記に、議事録署名人として議長および主任司祭のほかに武井昭比古様にお願いしたい。

この提案は参加者の拍手を以て承認された。

議 案 「地区割り制度の導入」に関する件

阿部副議長より議案の趣旨説明が行われた後、質疑応答が行われた。賛否に関する意見交換の後、拍手による賛同を呼びかけた所、挙手による確認の声が上がり、その声に従って挙手による賛否の人数を数えた。その結果、出席者250名のうち、賛成195、反対27となり、多くの信徒の賛成が確認できた。

審議の詳細(文字起こし全文)の所属信徒向けの公開については、個人名があるため期間限定で信徒会館にて閲覧可能とする。教会事務室までお尋ね下さい。

I 閉会の祈り

ビジュ主任司祭

閉会の挨拶

一柳 裕子

以上、この議事録が正確かつ公正であることを証するため、議長及び議事録署名人は署名する。

2023年6月25日

カトリック吉祥寺教会

議長(教会委員長)

守重 英子

主任司祭

Biju Kizhakkel

議事録署名人

武井 明比古

曜 日	時 間	内 容	担当者
第4日曜日	10:30~11:30	洗礼希望者入門講座	司祭団
毎週土曜日	15:30~16:30	主日の福音の勉強と分かち合い 主日の福音の解説	司祭団
第1土曜日	14:00~15:00	聖書入門1 共観福音書に親しむ	フォン神父
第2土曜日	14:00~15:00	聖書入門2 書簡と初代教会について学ぶ	森神父
第3土曜日	14:00~15:00	キリスト教について 洗礼後のフォローアップ勉強会	ビジュ神父
第1日曜日	14:00~14:45	英語で聖書を読み、黙想する会 Study and reflection of Sunday Readings	ボスコ神父

※今年度の洗礼希望者対象のキリスト教入門講座は申し込みを締め切りました。

いずれも参加ご希望の方は聖堂入口備え付けの申込書で詳細をご確認のうえ、事務室までお申し込み下さい。

◆表紙の写真は6月25日信徒総会の様子です。
◆ミニバザー開催
10月15日(日)、22日(日)の2回にわたり、聖堂前を会場として教会委員会主催のミニバザーを開催します。皆様、お気軽にお立ち寄り下さい。
◆10月1日から1か月間、ローマにてシノドス(世界代表司教会議)第16回通常総会の1回目の全体会議が開催され、菊地大司教が派遣されます。また、メルセス会のシスター弘田とセルヴィエヴァンジェリー会員の西村桃子さんが教皇様から選ばれ参加します。西村さんは従来枢機卿が務めていた議長代理という役目の一人でこの役に選ばれたことは歴史的出来事だそうです。シノドスについては教区ニュース、中央協議会HPをぜひご覧ください。
(教会委員会 広報)

■ 事務窓口受付時間 ■

火・水・金曜日
午前9時30分～午後5時
土曜日
午前10時～午後5時
日曜日
午前8時30分～午後3時30分

■ 売店開店時間 ■

土曜日 午後1時～午後5時
日曜日 午前9時～午後3時

※ 事務窓口、売店ともに、
月・木・祝日は定休日です。

■ ミサ時間 ■

火・水・木・金曜日 午前6時45分
土曜日 午後5時(主日のミサ)
日曜日(主日) 午前9時/午前10時30分
第1日曜日(英語) 午後3時
第2日曜日(ベトナム語) 午後3時
第3日曜日(タガログ語又は英語) 午後3時

■ ゆるしの秘跡 ■

土曜日、日曜日の主日ミサ開始20分前からミサ開始までの時間、小聖堂にて。

■教会報 シャローム■ NO.508 2023年9月9日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替:口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

